

あの世への 遠路探して 道草を

北北東

五七五で一日を締め括る熊本地震からの十年日記の一端だ。前回は2024年10月22日だったので、その続きをここに記録しておこう。これを書き出している時、知り合いの名前がディスプレイで光り、声の主は旦那さんで「家内が24日心不全で突然なくなりました。26日家族葬を済ませました」と気落ちした声。長年の同僚でOB旅行会のメンバーの逝去を知らせる電話だった。旅の仲間では一番の長老だった。ついこの前にレンコンをいただいたばかりでお返しをと妻は考えていたのだが、生と死は隣り合わせにある。私もあの世へ向かう途上にあることを確信しながらなんとか遠巡りしながら、この文書を綴っている。

2024年10月23日

静かでも 溶岩ドームの 普賢岳” すっかり目の前の山が火山というのを忘れている。

10月24日

政治家は 国民のこと 考えぬ” 危険でも60年以上の原発もOK ほんとかよ。コンク
リートの寿命50年なのにホントにやるの？

10月25日

文化祭 様々工夫 知る機会” それぞれが独自に追求するモノがあることは幸せなこと。
10月26日

” 枯れ葉剤 人もその子も 枯れる毒” 俵山文化祭の午前中は板井八重子先生の「枯れ葉剤の旅、ドクさんの今」と題しての講演、沢山のスライドを駆使されて、枯れ葉剤汚染地帯の訪問記録をお話された。私の関心事はドクさんの最近のこと。1987年はまだ幼児で、ベトが脳炎後遺症でだらーんとして居た頃だった。2人の分離手術を受ける場に日本人としては中村梧郎さん一人立ち会われた。その時、あちらから手術の成功を伝えるメッセージが届いたことを覚えている。37年も前のこと。長い間サポートされている中村梧郎さんつながりの広い世界を感じた。

10月27日

” 政治家は 金と世襲 お膳立て” 議員バッジを付けたが勝ちというのも腑に落ちない。これも国民の民意だから仕方ない。(のか?) と金の罰あたりの一部は落選・まだまだ悪徳議員再選も。当選させたくない輩は比例代表復活で・困ったなあ

10月28日

” 西方の 夕陽の赤は 希望かも” 明日へ沈んだ太陽が翌日は反対から出て新しい朝をひき連れてやってくる

10月29日

” 人見知り これが俺だと 居直れり” 生まれてこの方、社交性が乏しく、こんな会は苦手なのにとマイクの前で喋っている。この日KSN新入会歓迎会があった。

10月30日

” 太陽が あること忘れ 我が頭上”

10月31日

” バラバラと 分解される オスプレイ”・結局あちこちで欠陥が指摘されるのに日本は爆買いの中に入れている。大丈夫かい。

11月1日

何も無い 森の中にも 子らの声。秋も遅いのに朝顔はいつまで咲くつもりなのだろう。山小屋に到着したら山行きの子どもの声が久しぶりに聞こえて嬉しかった。それまでシンとしていたので、ウリ坊か鹿しか居ない森に還っていたが、山行きが再開するといいなあ。その後小雨になって下山したのか、子ども達の声が聞こえなくなった。雨の中、関心領域は室内に。先週の文化祭でMさんから肥後手まりを終活ということで頂戴したのでそれをギャラリーに展示した。



11月2日

あるはずが 無いと大声 遠慮無し 実は

レジに入れた紙幣が消えて大騒ぎ・・確かに入れたのが無い！それって入れたつもりだろう、どこかに置いたままにしたのではって言われるが、・・持ち出した記憶はない。レジにあるに間違いないと、分解して底を取り出して奥を手探りしたらあった！。

それも破れた紙幣2枚、完全な紙幣3枚を取り出した。一枚は完全に破れていた。紙幣押さえを乗り越えて奥へ送られたのだろう。紙幣押さえの上の隙間をなくさないと同じことが起こるので、一回ごとに紙幣押さえの下にあることを確かめないと・・

11月3日

”秋むかこ 普段は邪魔な 蕨の子を” むかこご飯最後の晚餐めざし、再び山道を目指す。今度は上へ歩いて行っただ。なかなか見つからないが、目星をつけた場所で幾らかゲット！、帰ってから我が家用にムカゴご飯を炊いたのだった。

11月4日

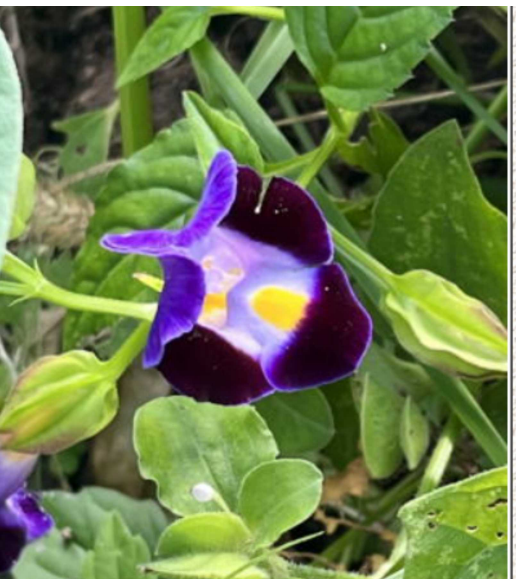
”森の暮れ あっという間に 真っ暗に” 森の山小屋から2時30分車を出そうとする頃

は周囲は真っ暗闇。幸いヤブ蚊には襲われなくなったけど、ひんやり秋の風が肌を刺す

11月5日

”紫の 花びら高貴 雑草で”

小川の実家の畑は秋といえ、まだ現役で草原状態。草刈りをテキトーにやって、あとは唐芋に集中。唐芋の近くに変わった花が咲いていた。豆類か？なんだろう花弁の外は紫。検索ではハナウリクサと出るが、雑草とある。ネットには「わたしの花図鑑」(著者えいじーさん)にこの花の説明が詳しく書いてあった。花言葉は「ひらめき、愛嬌」だって。雑草とは思えない綺麗な花である。雑草で”・・この雑草アゼトウガラシ科の花。東南アジア原産。こんな田舎までようきなさったなあ。別名夏蓮とか。



11月6日

”はかなきは 夢や幻 みるおもひ” 私

が行った2018年冬にDMZを見学した際に、今にも韓国との往来が始まりそうな駅もあったが、北朝鮮によって南北通じるが壊され溝を築き始めた。ケソン工業地帯も今では幻に。

11月7日

”このサロン 過去振り返る 出逢いかな

”昨日のオンラインの水曜サロンではそれぞれに座右の銘が話された。・よくよく自分のことに引きつけると「まあまあ」「テキトーに」というのがお似合いな人生だった。ある方は「テキテキ」と同じ意味を仰っていた。「自分は自分、他人は他人」「過去と自分を変えられないが自分と未来は変えられる」というのもあって同感だ。故山口浩二さんがよく言っていた「一期一会」もあった。



11月8日

”変わりなし 盛り土の山は 山の上” 我がDMZは森と青空が売

り！明日は午後から雨の予報だが、良い天気ならば外で絵手紙が描けるのだが、モデルはいっぱい薔薇に小菊。空の雲も、大木の幹もある。

11月10日

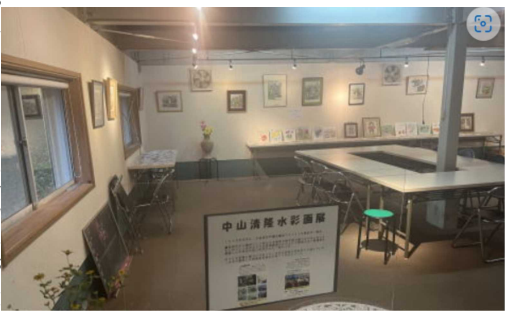
”我が遺作 展示するには 狭すぎる” 我が遺作はき

つと宇宙いっぱいに広がるかなと夢をみる。今日はこの展示スペース「中山清隆水彩画展」開催中の場所で絵手紙サークルの例会があった。みんな見事な絵を描いておられた。今の先生の前は中山清隆さんが先生だったが、関東の娘さんの近くに引っ越しされて、名残を惜しむ仲間の人が開催している

11月11日

”晴れの日 は ウキウキしては よか気持ち” 昨日

の雨の店仕舞いは大変だった。ジュークジュークした畑を掘って、生ゴミを埋めた。もう猪たちが掘り起こして食べてしまっただろうが。今朝になると天気回復。二時から床屋さんへ



11月12日

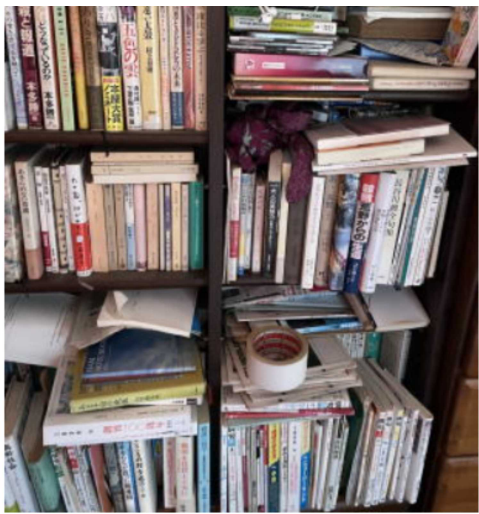
”人の声 姿見えぬに 聞こえよる” 無線機というブラックボックスはスマホに変わり、ハム族は消えゆく運命か。

11月13日

”夕暮れは 我が人生の 黄昏か”
黄昏れる時間がまだ必要な十年かな。我が家の断捨離（本棚）も進まないというのに・すべていつかは読み終えるつもりで積んでいるのだが。なかなか進まない。

11月14日

”棒であげ 風に吹かれた 干し物を”
のんびり一日が過ぎて我が家のダリアはまだかと屋根の上に眼をやると昨日干した我がズボンが瓦の上に一人ぼっち、日暮れ頃に21メガのアンテナ棒で取り上げたのである。ここで無線が役立った(。o。)



11月15日

”リタイヤが 夢だったのに 暮らせない” 日々物価高は実感する。米も上がっている。昔は梅干し、味噌、米があれば生きてゆけると思っていたが、梅も不作で、味噌は小麦の値上げなどで何でも上昇、円安で今日は156円/ドル。輸入物、燃料代コストは下がらない。なんて世の中だ！プンプン(。、)

11月16日

うたた寝は この世の暮らし 霧の中” この世の暮らしなんてずっと霧の中。いつかは晴れるだろうと思っているうちに寿命という時間切れ。明白なのは、はかない残り時間。

11月17日

もう枯れ葉 我が日常は 青いのに” 木々の葉っぱはまだ紅葉からほど遠い。一度冷え込んだら紅葉が始まるかもしれない。全体の色づきはあと2週間後かな。



11月18日

” からいもは 実をつけ忘れ 空芋に ” 今年もやっちまった(、) 植えた芋を掘りに・・ところが収穫はなんと！小指よりも小さいサイズでがっかりだ。ます植え方から間違っていたようだ。畦も作らず深く反省(、) その芋を植える土地を耕すために買った耕運機は1回で草が絡まり止まってしまった。勿体ない買い物をしてしまった。以降使わずに。草取りもやらず、まあ自業自得

11月19日

” おお寒い 70回目の 冬が来る ” 逃げようにもどこ

も寒そうでじっとしている。雨でないので救われる。本格的に冬支度。架設だった炬燵を常設に。いよいよ我が家に冬がやってきつつある。

11月20日

人生は あつという間に ひとひねり ” 何も考え無い日々が逆に考える日々になる。

11月21日

” 冬になり もう五時半は 闇の中 ” ・山も平地も午後5時半は真っ暗だ。

11月22日

” 紅葉に また行こうよと 冗談も ” 日田市の紅葉は水俣から旧職場旅行に合流参加の思い出も・見事な紅葉だったなあ。

11月23日

” 仕事なし 勤労感謝 してよかと？ ” 今週もお客様はなさそうなので自由気ままに過ごしている。ぼーっとしているので勤労という言葉は当てはまらないが・・勤労出来ることに感謝する日だろうか。

11月24日

” 荒波は山を越えつつ吹く風に ”。 どっちを進もうかと思案する分かれ道が山道にもいっぱいある。どうでもよいけど安楽な道があればそちに流れようと思う弱い心が時々現れる。それでも進んだからには一直線のつもりで歩き通さねば何も得ることが出来ない。何処にも困難がある。だけどその日まで歩くしかない

11月25日

” いつまでも 同じ姿は 夢のこと ”

11月26日

” 雨風に 揺れる心は 不安定 ” そうですねば菊を育てるのが好きな方もあったなあ。父も庭に菊を植えていたし、昔の人は秋に向けて同じような趣味を持っていたのだろう。



11月27日

” 雨の日に 温泉に入る 古希爺 ” 平山温泉恵荘。今日の温泉行きのメンバーは最長老94歳、90歳、88歳など、到底私には到達できない年齢の方々ばかり、その元気の良さにびっくり、あと6年で100歳とは・・・私はあと80年先・・・もうとても太刀打ちできない。

11月28日

” 年寄りに 寒さ身近な 堀こたつ ” 家を新築するとき炬燵の形に掘ったのだが未だに使うことはない。

11月29日

” 地に崩れ 今か今かと 待つ親は ”・・・過疎の地で地震の怖いことは、頼れるのは自分しか居ないこと。その自分に助け出す体力も無く、津波や火災が迫ってくるときの悲惨なことは考えたくもない。

11月30日

家出猫 躑躅びしく (外に) トイレなし ”・・・外でシッコを我慢して仕方なく家に帰ってきて猫用トイレでシャーとやっていた。躑躅は人間に都合良いばかり。

12月1日

” すこしずつ ずばらでもよし 手を抜いて ” 真剣に考え過ぎたらいけない！まあテキトーに！

12月2日

” 雲の上 いつも青空 ホントかな ” 飛行機に乗るとしばらくは雲に囲まれるのだが少し上空に移動すると信じられない青空がめつと現れる。例えば地上では大雨の降るその上でも見事な青空が広がっているのだ。

12月3日

” 凸凹は 水を注げば 平面に ” 37年前のベトナムを思い出す。未舗装道路に雨(スコール)が降れば歩く場所を探りながら右往左往



12月4日

” 若鳥は 飛び泳ぎ舞う アスリート ”



12月5日

” 耳の良さ 断りの声 聞こえずに ”

ALEXASピーカーでたまには「八代亜紀の歌をつて」リクエストするもいつもと違うAmazonMusic unlimited の案内が流れて契約しますかの・・NOと断るつもりが、そこに電話がかかってき「ギャラリーAZULですか」ときかれてそのタイミングで「はい」と答えたものだから、自動的にAMAZONとの契約が成立・・大慌てで電話を切ってamazonで履歴をみると既にAmazonMusic unlimitedに契約してしまった。スマートスピーカーは「はい」だけに反応し取り消しにはご都合耳、聞く耳持たず。文明の器に要注意だ。

12月6日

” 紅葉は 思い出ばかり 浮かぶ夢 ” ・ ・ 紅葉の中、駆け巡った青春時代が私にもあった。思い出すのは冷たい雨が葉っぱから落ちるシーンとか。みぞれ混じりのシーンとか雑音ばかりのラジオのようなメモリーが。

12月7日

待ち時間 つぶす暇人 プロ仕様 ”

・ ・ 無線もあるし、散歩も、読書もありだ。きちんと曜日毎にプログラムが進むのは心地よい。12月は冬休みだからだらーんと過ごす毎日になりそうだ。

12月8日

動けない 冬は嫌いだ 寒いけん ”

12月9日

煙立つ 麓に炎 燃え尽くす ” 火は



怖い。用心しよう！

12月10日

”十二年に出番は一回 長いモノ” 好き嫌が多いニヨロニヨロが来年の干支・なんかありそうなんだな。

12月11日

”年末は 日々慌ただしい カレンダー” 明日はTBS&SS会議、明後日(金) 昼はサップさんの勉強会、夜はハムミーティングだ。

12月12日

”最近 姿や声も オンライン”

今夜8時からTBS&SS会議。こちらも軽い会議場、その殆どが近況報告。それでよいと思う。

使える技術をこき使うことが今生きるシニアにとって最善のことだろう。夜や寒さで動けない高齢者にとって孤独をなくす新しい文化なのかも。メールとは違い、口さえあれば好きなことが話せて、終わったらそのままベッドへ直行。バスに乗ったり、自転車に乗らなくても東京や海外の友人の顔が見える。



12月13日

”寒さゆえ 胃に注ぐのは 八海山” 紅葉も行きすぎて、枯れ葉散る。夜ご飯では八海山に燗をつけて、飲んで、ご主人様は、テレビを観ながら眠り込んでいる。寒い冬は日本酒が似合う。私も目がとろんとしてきた。午後8時、あと30分後のハムミーティングにちゃんと参加できるだろうか？

12月14日

”薪ストーブ 枯れ木眼突く 暖の為” ・枯れ木集め(枝を折るとき眼を傷つけ、燃やす窯守も焦し煙も、眼を傷つける。山小屋の冬の暮らしは大変なこと

12月15日

”記憶には 動画がよいと 記録する” 爺の保存時間なんて僅かだろうが、捨ててしまうのは勿体ない。動画は息の強弱もはいり。周りの音も含めて季節がよく分かる。さわさわという枯葉の落ちる音はなかなか入らないが。

12月16日

”人相の 悪い総理の 不人気よ” 教育や福祉、医療より軍拡優先の政治が続く。／シリアもうまく民主主義が機能するようになるとういが。イスラエルのゴラン高原支配計画も困ったこと。

12月17日

”寒かばい 布団の中で 暖を取る”

12月18日

”忘年会 君も私も 久しぶり” 1年ぶりに会う仲間も居て、翌日の集まりに期待。

12月19日

”街中を 少し外れて 静か過ぎ” 賑やかなのは中心部だけ、あとは生活感たっぷり
住宅街が連なるいつもの風景に。

12月20日 ”さあ仕舞い 師走の寒さ

店じまい” 我がAZULは12月22日

(日)で今年は最後

12月21日

”あらまた 裏に結論 添えるだけ” なんか良く分からないが1時間後は寒い山小屋におつた。帰路の風景は嵐だった。梶尾真治さんの講演会に参加したのは初めて。私が読んだのは「ゆきずりエマノン」、「壱里島奇譚」、「ダブルトーン」、「アラミタマ奇譚」だったろうか・・・シヨートは6枚、最後のオチが大変とか、そんな1時間半別次元に居た。



12月22日

”袖ちぎり あと水始末(で) 最後なり” 山の師走の暮らしは体力勝負だ。カフェも

最後の営業日 最後といえれば必ずやるべきこと。水抜き作業。家の中の水を出しておかないと零下になるとあちこちから水漏りに、水道パイプがやられていたのが思い出される。数年前から水抜きのアドバイスに従って家の中はもちろん、水道ポンプの水抜きもやって氷結に対処することにした。それ以降、室内の水道破裂とかパッキン断裂とかでの水漏れは防止することが可能になった・・・12月末の水抜きは1度々の環境下で、行ったり来たり之苦役作業である。でトータル歩数は8085歩。

12月23日

”また暮れる 一日一つ 歳取って”

12月24日

”空を飛ぶ 夢を観ながら 地を這って”

いよいよクリスマスが過ぎると来週は大晦日。そして2025年へ突入だ！この夜は水俣OB会(オンライン) みんな同じ頃に青春を過ごしたあの町の職場の同僚、昔の面影も残しながらシニアとなった今、それぞれの経年変化でちょっと戸惑う。



12月25日

”サンタ去り 大晦日後は 歳を取り” 何が良いのか分からない。”バカみたい 年末年始 振り回す” 私も参戦しないと、と心を振り回す広告(おせち料理、三社詣出の旅とか)の多いこと。風呂に入って炬燵に足を突っ込んでWEB日記を書いている。・ちよっと背中がけだるい気分、掘り炬燵なので足が温かいが頭が冷たい。パソコン打ちの姿勢はこんな感じだ。・次にやることは洗濯機に、風呂水を入れるようにと命令され、ご主人様はとっと二階に消えた。明日は26日ということは・あと1週間で正月になるのだ。あつという間の2025年へ。

12月26日

”レタス葉の ちぎる感覚 気持ちよし” 最近レタスにこっている。手でちぎる感覚が気持ち良い料理するものならではの感覚だ。おつつぽん

12月27日

”師走末 右往左往と 逆走も”

12月28日

我が寝床 冬横たわる いつの間に”寒い時は布団に入るのが一番経済的。

12月29日

”飛び上がれ 誰が指示する 鳥の群れ”



12月30日

”誰も来ず 我がWEB日誌は 灯火は” こんな風に人間風化するんだなあ。目出度し目出度し
(-_-)v

12月31日

”大晦日 怒り爆発 明日のため” 正月というたった二日のためにあちこちが賑やかだ。あと5時間2025年 !!我が仇 「正月め!」

2025年

1月1日

”民のため 口先ばかり 防衛費”・庶民が捨て置かれ誰かが潤う。昔はアメリカは軍事費で沈んだと批評されたがその後を日本が追う。

1月2日

”正月は 食べ飲み眠る ばかりなり” なんとつまらん習慣だろうか。

1月3日

”奇跡かな ななじゅういち は たなぼたの” 誕生日お祝いのメッセージが沢山届く、LINEやFacebookにて。誕生日も返信に忙しくなった。あれまああれには書いてあれにはまだ書いてないとか。收拾がつかない。何が目出度いものやら分らない。

1月4日

”知らぬ間に 時間に追われ 日が暮れる”・右奥歯（の虫歯かな）が痛む。正月に大宮神社で「大吉」引いたのに・・・ホント引かなければよいのに「小吉」へ運氣はダウンしたのかな？もう一回どこかで引いてアップを望むか。さらにダウンするか？

1月5日

”戦争は 終わりを知らず 48405” ガザ地区の死者の数ばかり増えてゆく！

1月6日

”今年まだ 花粉症は 無為鼻炎 (nuy bien)” いまのところまだnuy bien (とてもよかばい) 梅酒がうまいと思うようになったのは、遠くの地で長女に娘が産まれた5年前だったか。ご主人様は守りで残っていたので熊本に帰って一人で留守を守って居た頃。そろそろいいかなと8月（5月末に漬けた梅酒）に解禁した。夏は氷水を入れ、冬はお湯で割って飲み続けている。砂糖一杯でいかにも体に悪そうな酒である。それでもまあ5年以上飲み続けているので、異常が出て来ないのが不思議。

1月7日

”アイデアは 浮かばず湧かず 腕を組む” ショートを書くのは難しい。

1月8日

春の夢 寒さ厳しい 厳冬に”あまり思う浮かばず。そうやって締め切り日はすぎてゆく。一日考えたが、課題のアイデアは途切れ途切れ、無駄な時間をつぶしたのだった。発想の転換に五〇年近く前の水俣の頃の画像をMさんのページでみたら、ボソボソの比べものにならない黒髪だった私ものと写っていた。

1月9日

” 一日は 限りあること 忘れおり” 日々の積み重ね・・・” 薄っぺら 同じ厚さの 我
が人生” それでもまっしぐらだ。(一)

1月10日

” 寒さより 空腹満たす 野良猫よ” ぬくぬくと
した飼い猫が野良猫だった頃の寒さを外の猫に感じのか。

1月11日

” 年寄りの 夜学生だった あの頃は” 介護保険制度始動目前にして地域初めてのあの
学部も30周年だった様子。四十歳、初めての一期生の学生自身が社会福祉士の実習先を開拓し
ていたなあ。で、近所の特養でOK貰ったのだった。真摯に受け止めて下さったお二人、既に職
場を去られており次の世代へ。(その30年前は) 五時まで仕事、六時から学生、帰宅は10時
半この生活を6年続けたとは・・・唯一自らを褒めたいことだろう。あの頃は毎日2時くらいまで
宿題などやっていたし、院ではメーリングの管理にHP作成など続けていた。いつ寝てたのだろ
うか。(一)そのツケがこの白髪の虚弱爺さんに。



1月12日

AI監視 気遣うばかり オンライン” < 昨晚オンラインで小川に暮らしたメンバー
と会話・・・それをちゃんと要約したレポートが終了後 メールで送ってきて、内容を点検したら、
ほぼ間違いがない。要約を共有も編集も出来るようで、会議報告には手間いらずかもしれないと
思った。AIの恩恵 しかしこれはもしかしたら内容はそのまま 検閲にいくのかも。それが怖い。
(時代が変わって) 万一政権批判しようものなら収監とか生死を伴うことになるかも。今の
日本でそんなことと思っても想像以上に監視社会が強まっている(実際に港湾・軍事拠点周囲在
住者の思想調査などすでにやっているのではないか) 安心安全と軽く表現された言葉の裏には管
理される対象者が浮き上がっているはずだ。

1月13日

” 誰もこん ZOOM会議 時過ぎる” 今宵8時からの会議に、最初2人だけで最後は6
名に、それが終わっての9時19分突然携帯がなって「地震くるぞ!」と・・・構えていたら20秒
後に揺れ始めた。横揺れが強く震度4かなと予想。LINEで揺れたねとか電話もあって大騒ぎ
した。バヌアツの法則の遅延版だったかな。

1月14日

”画伯まで 何年かかる この筆致” たぶん
200歳頃かな

1月15日

”地震様 もう店仕舞い しないとね”と伝え
ところ。その後今朝の時には日向灘震源の地震が震度6
で再びやってきたとゲームに熱中のご主人様。「やつ
ぱり来たね」と全然知らずに寝ていた私

1月16日

”時を超ゆ 話は遠く 皺も増え”字幕頼りの同僚もあり 私もそうだが・経年変化に
も驚く・。(。)(。)(。 昨晩は元職場OBの9名で(横浜や鹿児島、佐賀、米国ワシントンD.C.な
どからの参加)オンラインミーティング。40年ぶりとか30年ぶりとか20年ぶりの会話だ。
それをZOOM機能の「AIコネパニオンを実験したが、素晴らしい要約を確認した。遠くに居
ても近くを感じる一時だった。科学技術の発展があつて一同集まれるのだから。なかなか素晴ら
しい。(。)(。)

1月17日

”身も蓋も あるはずなのに そこが無い”難聴や耳鳴りから遠いと思っていたのに、
いつの間にかTVの音が聞こえにくくてボリュームが大きくなってきた。静かなはずがジーと言
う音が常時耳にある。

1月18日

”1月は 慌ただしくて 落ち着かん” ビックリ
したのは昨日の熊日新聞(スポーツ欄)。私はスポーツ欄が
大嫌いで普段わざとスルーするページにU画伯の娘さんの
記事。なんとこの南国熊本でスキー選手として頑張ってい
て今度の冬期国民スポーツ大会に参加するというその選手
宣誓している写真が載っていた。あのちびっ子がこぎやん
ふうに成長している。10年の時間を経て爺さんの目で眺
めた。(

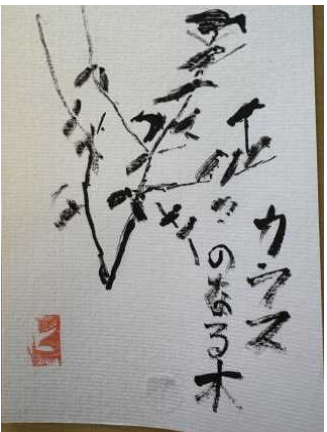
| 期刊 2025/01/17(金)



選手宣誓するスキー大回戦少年女子の浦本
真帆(手前左、第二高)と旗手を務めるアイ
スホッケー少年男子の今村元紀(開新高)
=16日、熊本市中央区

1月19日

”形骸化 日本の不戦 軍事費が” 憲法9条に異議申し立ての馬鹿野郎ども。あれほどの
戦争被害、原爆も落とされ殺され近隣侵略し殺した過去の反省もなく蘇る吸血野郎め!と綴るこ
としか思いつかない冬。



1月20日

”金コン幹 貧乏人は つまはじき” お金持ちだけにお金が寄ってくる。貧乏人は物価高に苦しんでいるというのに。世の中の様変わり・円安ドル高も一因だが、人見知り猫がいるので当面海外にもいけないので引き出しを掃除して出てきた予備の手持ちの紙幣を銀行で両替してきた。ドルへ交換したときのレートは95・74円で1ドルに換えた…当時2009年8月）が今日は1ドルが151・08円とべらぼうなドルの価値アップ55・34円↑と円安は日本全体の活力の低下の証明だろう。・そのついでに別の取引のなくなった銀行で通帳を廃止して貰うことで余分な通帳の一掃という終活の一貫。これからボケてくるのでもう少し身辺の掃除を進めておかねばと思うこの頃だ

1月21日

”あつ六時 早く夕飯 済ませんと” 制限時間2時間。この日は宇土半島一周して・17時頃無事に我が家に到着。留守番の猫のハナは二階から下りてきた。ハナを抱っこして庭を散歩したら、野良猫キジが裏ドアでタご飯の配給を待っていた。・ご飯あげたがまだ不満の様子。裏の駐車場にカラスが啞えて運んだのだろう猫用ご飯皿を回収に金網を飛んだ。・今宵8時から毛学習会、12月から一月ぶり、みんな覚えているだろうか？。参加が心配だ。

1月22日

”空の下 米粒よりも 小さき我” 2019年

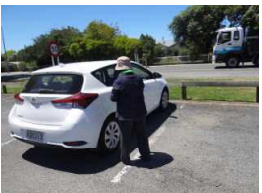
1月26日の12:53 JST西区上空 川は白川らしい。Zより帰国した関西空港から伊丹へ移動し熊本へ帰ってくる空の上からの風景、このずっと先に我が家がある。金峰山を迂回して空港へのルートの手前かな。あれから既に6年になる。思い出深いレンタカーの旅だった。人見知り猫のハナが居る限り、家を留守に出来なくなったので、あの頃が最後の海外になるのだろうか。円安も重なるし先は分らない。



1月23日

”満喫の 自由の旅に 没頭し”あの頃はパニック直前、少しずれたらあの日は訪

れず。2019年1月のニュージーランド レンタカーを借りて北島ドライブの旅



1月24日

”寒中に 野良猫騒ぎ 春近い”かも

1月25日

”阿蘇の山 白い噴煙 雪のよう”・・・冬の寒さは来

週から再び。今は一服の春のよう。今日は風が強かった。

1月26日

”そうだった あの時のこと ノートで思う

この十年に渡るWEB日記は、世界どこからでも参照できる。個人情報なるべく控えたつもりがじゃやじゃ漏れも仕方ない。あの花はいつ咲いていたのか、文化祭では何があったかなど、とても貴重な情報として振り返ることができる。特に旅の経過を顧みるのは楽しいことだ。人生先だけを見なきゃあっているのだが、あの日を振り返って楽しむ材料もあると、未来も楽しいだろう。他人の目を気にするより、自分が楽しむべきだろう。

1月27日

羨まし 葉っぱがお金 たぬきさま”・・・狸は葉っぱをお金に変えて人を欺すが權の書くもののお金に変わる。いいなあとうらやましがるのは (まあ いとおかし)。 (;)

1月28日

”超音波 今は我が身を 切り刻む”

特に朝から寒く6度から7度の一日、明日も更に寒いだろうとの予報だ。雪も降るかも。散歩の途上阿蘇の方を観ると真つ暗な雲が降りていた。我が人生、いろんな巡りあいがあった。今日も検査の途上での会話でMくんの近況を知った。30年前から中村哲さんを慕う純粋な男の生き方を教えて呉れた彼も、今、ちよつと心配に。・・・人を心配する立場ではないが、みんな病気で苦しんで欲しくない。――皆最後は天国(または地獄)にいくのだが、思ったことを一直線に。少しの希望さえ持てば・・・いつのおみくじかはつきりしないがこんな言葉が書かれてあった。「どんなに枯れた土からもやり方一つで芽が出て花が咲く 今自分の出来ることを考えなさい。花が咲くと信じたものだけが希望の芽を育てることが出来るのです。」また新書を送ってくれた長谷川權はその帯で「言葉は生き物であり、人類の体験を記憶する星雲のような記憶装置である」という。言葉は大事な指針なのだ。

エコーを終えて病院近くの喫茶店でモーニングを食べてのち、展覧会の案内が封書で届いていたので熊本城の近くの駐車場に停めて県立美術館別館へ。久しぶりに紅型作家 平井真人さん(写真)に会場で再会。今日明日滞在とあって、



丁度良かった。2007年12月以来の四方山話
が。まだまだ元気でこれから青森で展示をするとの
こと。ちんすこうのお土産まで頂いた。あれから随
分時間経過があるのに・すーっと昔のままで相変
わらず、お互い「過ぎの老人になって・それでも
まだまだという気持ち」が伝わってくる。

1月29日

宇土半島 一周するたび 蜜柑増え” 森永

卓郎さんと（RKK）原敬博之アナウンサーが亡く
なった話題が半島一周中のラジオから流れて寂しい
なあ。宇土マリーナから眺める雲仙普賢岳…雲の流
れの合間に真つ白い雪が見える。随分昔ニュージ
ーランド南島のマウントクックの小トレッキングに参
加した時、その頂が見えなかったのが一瞬の風で霧
が綺麗に解消してその姿に感動したことがある。そ
の時のことを思い出しながら冷たい海風に吹かれながら雲が消えることを願っていた。意に反し
て、段々雲が山頂を隠しに降りてきたので帰り支度を始めた。



1月30日

” 寒い中 炬燵の足は 熱すぎる” 空心に還ろう。

1月31日

AIなんて 時々嘘を つくんだよ” 手抜きの人間差し置いて(。、)

夕食後、梅酒をお湯割りして二階へ。20時半からハムZOOMミーツイングだ。その報告は最近の
三付属のAIコンパニオンがサマリーを作って呉れるので殆ど時間を取らない。だが奴は時々間
違えることがあるのでしっかり読まないといけない。今夜も一カ所、間違いを送信後に発見。A
の仕事は疑って掛からないといけない。(。、)なんて奴だ！

2月1日

” 未完だが 書き物探し ドロップで ”DropBoxの便利さ” 2TBという容量で、すべ
てのPCからのデータを一カ所で管理している。もちろん「KSNだより」など過去からずっと一
貫保存。まだまだ余裕がある。

2月2日

”信じ込む 期待は希望 プラセボは”

今日の赤旗に面白い記事あり以下の如く「プラセボ効果」神経科学で解明理研・阪大チーム薬理効果のない「プラセボ偽薬」に対し「効果があると思ひ込む」だけで何らかの治療効果が得られる「プラセボ効果」のうち、痛みを抑制する「プラセボ鎮痛効果」について、その神経生物学的な実態を明らかにしたと、理化学研究所と大阪大学などの研究チームが発表しました。と「プラセボ効果は古くから知られ、科学的にも実証されています。ただ、神経生物学的な実態が未解明であることから医療応用は制限されているといえます。研究チームは、前頭前皮質内側部の「ミューオピオイド受容体」がプラセボ鎮痛効果に関わっているとした研究成果を先に進め、ラットを使った動物実験で「期待感」によって痛みが抑制されるメカニズムをつきとめました。治療効率の上昇、鎮痛薬の投与量削減による副作用の軽減などにつながると考えています。論文は1月15日、米科学誌『サイエンス・アドバンシズ』に掲載されました。」・とのことでもラットが何をどう期待したのか研究者との意思疎通がなければ分からないはずなのに私は疑問を持つのであった。

2月3日

”古巣から 病院嫌いが 逃げ出した” 病院に勤務した39年・最近足は足を開けるのが嫌になった。

2月4日

”赤鬼は 酒も飲まずに 疑われ”
その”おつまみの 豆を怖がる 節分日”
”..なんて。 10時から友の会での絵手紙。季節柄この前終わった節分の豆まきの絵

2月5日

”雪は降る 幼き冬の 思い出も”



2月6日

”大雪と 脅されながら 普通の日”肌寒いけど気象庁に心理操作をされ続けている。

2月7日

”寒いなあ 手先冷えずも 爛梅酒”寒くてもそうでなくても爛をつけたお酒なら冬は温まる、甘かろうが辛かろうが、どうでもよいこと。



2月8日

”成長は いつするのだから 思案中” 50年目のレジューム (resume) もう先はないというのに。私は何をしているのだろう。方向も無く空回りをして、手近な道を歩いてゆく。私は何をしたいのだろう。全身から気が抜けて、そんな手で何を掴むというのだろう。変わらない心も、冴えない心も、幾つもの日を数え、私には一体何が出来るというのだろう。(水俣時代8代の頃の私だ) あの頃は・・・何を考えていたのだろうと、それから50年後の男は思う。いっちゃん変わつたらんばい。今も堂々空巡りの中

2月9日

”プリンター 一昔とは 別物に” 10年前とは別物になっちまった。NETにblue to netとかWIFIなければ設定出来 プリンターの調子が悪くて、何度も調整してもエラーばかり、頭にきて、十数年使ってきたプリンターをお払い箱にする覚悟が出来た。スキャナーでも使えるならよいと思っていたが、プリンター機能に何かの障害があるだけでずっとエラーが点灯。気の短い私だから、もうあんたは使わないと宣言して古いプリンターに句読点。



2月10日

”寒さゆえ 手先口先 動かずに” Xipocの脳はずっと休憩中。それも たぶん一生。(つ) FACEBOOKでALSの方の映画が紹介されていた。私は35年前に折笠美秋氏の月刊『俳句』連載を読んでいた。まばたきを読んで、文字にする人あつての連載だったのだから。本人は苦しい人生だっただろう。ただその記録はずっと残っている(文学で残すのは大切)・第二句集『君なら蝶に』が有名。

2月11日

”ぽっかりと 浮かぶ思いに 突き進み” 不知火道の駅で野菜と貝



と昼の弁当それも三百円台のを選んで購入。お茶も140円の自動販売機で。で次はみかん屋さんでみかんを2束千円。そこから三角港の宇城さん三角へ、不知火の味噌など買い足し。三角港の公園へ・・・海に面した方向に車を正面から停止し、もくもくと昼飯(私はカツ丼)、ご主人さまは海苔弁当を食う。リンゴのパンも半分こして食う。車を停めている時間内 港の見える範囲の釣り人の竿には一匹も魚掛からず。

2月12日

”猫の手は 爺の睡眠 妨害す”

”眠いなあ 思い当たるは 猫の爪”猫のハナの壁を擦る手で安眠を破り、一緒に遊べば・我が薄い皮膚の手にその爪突き刺さり、一緒に運動のあとには血がしたたっており。猫を炬燵に埋めて昼寝でもしようか。

2月13日

”声出せぬ アマチュア無線 狸耳”

友の会の10円ショップで購入した「携帯電話基地局の真実」を眺めていた。発行は2011年3月20日と古い。携帯電話基地局周囲への影響について、ある人は人類最後の公害という人もいる。携帯電話の利用周波数は700MHz帯域から28GHz帯までを利用。この携帯電話局では24時間電波が発信され続ける 人体への影響がないという前提で設置されるのだが周囲とは軋轢を生んでいる。そういう私は57年来のアマチュア無線家。安全な電力だけどなるべく無線は聞くだけに徹しようとすれば根性なしと言われるだろう。



2月14日

草刈りは 山羊に任せて 夢の中”そんな特権にありつけるといいのだが無理だろう。山羊の歓迎・久しぶりに太陽光発電所の下草食いが仕事の山羊に会う。ぜひわが小川の草原にも出張して欲しいもの。

2月15日

”運動と 猫と遊びて 爪の傷”奴はいつも本気だから・・過剰防御で爺の手に爪傷をこしらえ血が吹き出る(；；怒っても相も変わらず！



2月16日

”不安なり 健康寿命 いつまでか”もしかしたら これまでかい。(；；)

あと2週間で3月になるので、カフェをまた再開予定だが、大丈夫だろうか？昨日は夕刻より、ちよつと目眩がしたが、3月11日・12日は飛行機移動あるので、それまでに元気でいたいもの。

2月17日

”チャット爺 声が分からん キーボード”機械は容赦ない、聞き取れないを連発だ。(；；最近昼間横になってしまう。暖房費節約にもなるし、ラジオを聞きながら小説を読ん

いる。目が疲れるけど、この習慣は捨てがたい。我慢して起きて疲れるよりは、よいのだろう。AMAZONのスマートスピーカー（アレクサ）に音楽を流してと要求も楽しい。声だけで命令出来るし、小声で言うとな奴もふざけて小声になって応答する。遊び相手にはよい。老境に達した我々は機械相手の方がストレスは少なくて済むだろう。

2月18日

” 古家は 冷たき空気 淀んでる ”

誰もいなくても何かが留まっているのだろうか。人への思い、建物のあるべき姿も。居なくとも収まる風景がここにあるかも。思うモノだけに分かる。・・



2月19日

” 寒々と 繰り返される 空手形 ” 日本の未来を明るくするには原発廃止だ！

あの頃はもう原発には頼るまいと国民のみんなの心にあったのが、二年も経てば既に形骸化し、燃料費が上昇する中、原発に頼るしかないという世論を庶民への普及形成。忘れやすい日本人を手玉にとって、原発政策をフル宣伝中。万一是起こらないなんてない嘘のこと。想定外がこの世の常なのに。さらに国防の原則はあえて脆弱な作的を作らないことなのに、原発という（敵対国にとっての）致命的なものを地震大国の日本中いっぱい作って再稼働も始めた。これは困ったことだ。怖いのは核燃料事故故も・周囲の住民は大きな被害をうける。



2月20日

” さあやるか 思うことだけ 空回り ” 左耳がゴロゴロ言っている、外耳に何か留まっているかな。今夜風呂でまた潜るか。迎え酒みたいにして(。o。)

2月21日

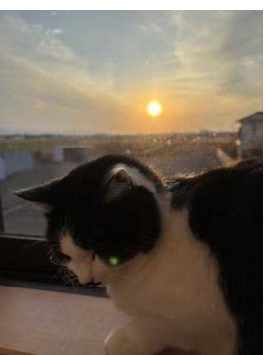
食材は いくつかあれば ご馳走に ” 大体いつもの朝食はこんなもの・サラダにはドレッシングではなくて、白菜キムチを上から載せる。それが結構美味しい。朝からの豚汁も。デザートのカスピ海ヨーグルトは365日欠かせない。果物がなときは蜂蜜をかける。



2月22日

” 微睡んで 夕暮れ早く 猫仕舞い ”

ニャンコの日の今日2月22日の夕陽と一緒に眺めた。FACEBOOKの記録を確認すると2021年に我が家のメンバーになって今年で4年目。相変わらず朝早くから爺を起こして走り回る。運動させてご機嫌を取っている。猫との交流を続けて楽しんでいる。

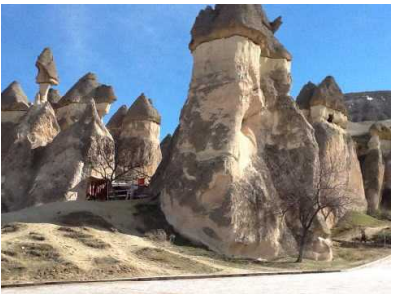


2月23日

” 足の裏 地球儀まわり 海の音 ” 飛行機の旅では座席前

に飛行中の位置が出て到着までの距離や、外気温などが表示される。海の上を飛んでいる時の感覚。10年前の今日はトルコに居た。

トロイの木馬に登ったりした。還暦退職の時はヨーロッパの旅。現役時代と違って時間には左右されず、あちこちへ行くはずだったが、コロナ以降、若猫が来てから旅はいけず、仕方なく過去をFACEBOOKで振り返る。



2月24日

”何かする 思うだけでも 日々過ぎる” 窓に座って外を眺める猫のハナ。よく人間の動向を観察している。玄関をうっかり開けると逃走するので、後ろを振りかえりながら閉じないと少しの隙間を抜けて全速で逃げ出してしまふ。帰ってくるまではどこかのドアを開けっ放しになるので寒くて堪らない。で今日もベランダの洗濯物取り入れ時にも瓦に飛び移り、数メートルの散歩を楽しんだ様子。そういえば来週のオンライン水曜サロンで「ペットの話題」をテーマで予定・・そろそろPRしなければ。

2月25日

”ポメロンは 一年越しの 約束に” ああポメロンのため息。・・日々楽しいことを考えよう！あとで修正「ポメロ」が正しいと友に伝えた。

2月26日

”春よ春 楽しいはなし どこにある”



2月27日

”もう弥生 もじもととして 我迷い”

2月28日

”猫の気も ヒトの気もちも 変わらない” お互いを心配しながら暮らしている。縁とは不思議。元野良猫ハナは小さな時に母親に連れられてきた。最近までその母猫は裏口にご飯を貰いにやって来ていたがこの数ヶ月目にしない。ハナは既に母の大きさを超えて立派な成人猫になった。それでも毎日甘えている。階段降りも左右ジグザクに歩いて進路妨害する。ちゃんと分かって壁ゴシゴシも・・起きろ、起きなければ壁を削ぐぞって調子だ。脅し方もちゃんと備えている。毎日夜の炬燵テーブルの上での運動も継続中。人間のやることをじっと眺めているハナである。



3月1日

”正義とは 勝ち負けなのか 戦締め”

トランプしとゼレンスキーさんの会談決

裂のニュース、資源を当てにしたアメリカ・・戦争まで資源交渉の材料にするとは・・一年前のアメリカと比べても、なんか分からないなあ。どちらにしても日本の終戦と重なって粘っても犠牲者ばかりが増えるような・・それでも侵略者が悪いのに決まっているのだが、正義が正義でなく正気が狂気に異常に展開しつつあるウクライナ戦争だ。

3月2日

”春の雨 梅干しの花 赤く咲く”

3月3日

”かぐや姫 お月様へは 何で行く”

南区役所からの帰りに銀行に用事があって城南へ、その駐車場からある局長さんの自宅があつて・最近E₁ (Earth-Moon-Earth) 通信をされている様子、その空に向かったスタックアンテナを眺めた。FT8にEME通信・最先端シニアの局長さんだ。こっそりパチリ。月面に電波を反射させて海外と交信するなんて凄いぞ。その往復77万km!。少し後輩の私が既に無線への情熱が遠ざかりつつあるのは・まだいかなだろうと反省。趣味は前向きにいかないと。

3月4日

”雨の中 飛び出した猫 玄関に” やつぱり濡れるの嫌だからすぐに帰宅のハナだった。晴れた日には帰ることも忘れるのに。

3月5日

”啓蟄に スッキリしない 胃袋は”

3月6日

”仕方ない 学んでも抜ける ザル頭” *ロシア語もスペイン語もハングルも学んだつもりがサツパリ身につかず。本気になったことがない。遊びの無線も中途半端に終わってしまったような。人生中途半端ばかり。(´;´) ああむなしいかな 悲しいかな。*言葉でなくて文字を習っただけのこと。

3月7日

”風前の 灯火伸びれ ハナ思い”・野良猫にはしたくない。何の終活もしてないけど、あとは知らん、よきに計らえ!でよいのかな(´;´) 南区役所に樹木当選して受け取りに行ったついでにパスポートの更新手続きをした。まだ今年10月まであったが、・最初は10年にチェック、よく考えたら絶対無理、そのことをご主人様に話すとそりや5年よ、5年も危ないよってアドバイスされた、喜んでよいのか怒らなければならないのやら。ご主人様の言うことが客観的に正しい。ああ・いよいよ灯火も短くなったなあ。



3月8日

”あれも駄目 これもあかんぞ 老朽化”
・国も個人も。

3月9日

”鼻垂れて 嚏とまらず 眼は霞む”

昼ご飯は森の中でひなたぼっこしながら食べた。

金曜日からずっと花粉症酷く、くしゃみが止まらず相変わらずの鼻垂れ小僧で過ごす。あつらい毎日が始まった。今年は症状が遅くに開始。あさってから奈良行きが途上の心配、周囲に迷惑かけないかが・ハックション！。周囲で体調が悪くなっている人が多い。入院した人も、これから手術する人も居て、困ったことだ。



3月10日

”どんよりと 暗い雲より 沈みこむ” 春なのに心は弾まない。

明日11日09…15熊本空港発。家を出るのは7時早めに！帰りは2日の夜になる。花粉症爺さんが眼をこすり、鼻水を垂れて咳き込みながらの一泊二日の旅になる。

3月11日

”五十年 若者の我 爺となり” 大阪の二十代二畳の部屋があつた所へ舞い戻った。

奈良の姉と和風レストランにて再会。骨折も治りちゃんと杖を頼って歩いている姿をみて安心。食後マンション11Fの自宅へみんなでお邪魔して3時間ほど会話。帰りは手を振って送り出してくれた。また一人ぼっちになって寂しいだろう。（まるで我が母のそのままを繰り返している）・

・天六まで送ってもらい、大衆酒場さんまにて兄と飲む。二畳のアパート跡も突き止めた（建て替え済 左写真）・銭湯は駐車場になっていた。50年昔の学生時代暮らした天六界隈、今もなお賑やかだ。ROTASを検索で予約して一泊。二畳の間とは150mくらいの場所とは偶然だった。



3月12日

”知らぬこと 爺になっても 底みえぬ”

身近な場所でも知らないことばかり。気づかせてくれる機会が大事。神戸の娘夫婦と落ち合って、まずは「白鶴酒造資料館」へ。酒造りがずっと展示され最終には試飲コーナーも。それから神戸の中華街へ出て昼食。そこから神戸タワーへ移動した。頂上からは遠慮したい。大きな魚のモニュメントもあつて大きな網のような構造物と組み合わせると面白い話になるかもと想像し「facebook」に二つの組写真をアップした。刺身が千人分取れそうな大魚だ。・・あとはチーズケーキとホット珈琲の組み合わせの一品。天気はなんとか持ってくれた。16時半過ぎには伊丹空港着、バイバイしてすぐに検査場へ入場し21番待ち合いへ急ぐ。熊本には18時40分には到着した。旅はお蔭でウロウロすることもなく、すべて順調にいった。神様の思し召しとしよう。



さらに つづく予定

2025年4月5日

北北東